

③ 歴史の道保存調査

古くから文物や人物の交流の舞台となってきた道・水路は、わが国の歴史を理解する上で極めて大切な意味をもつものである。このため、57年度から3か年計画で、県内の「歴史の道」ともいべき江戸時代以前の古い道、河川等と、それに沿う地域に残されている歴史的遺産を周囲の環境を含めて、総合的かつ体系的に調査を行っている。

- 調査期間 昭和57年度～昭和59年度
- 調査対象 3か年で13街道

○昭和59年度調査街道

浜街道、水戸街道、岩城街道、御斎所街道

○昭和59年度調査員

専門調査員 県文化財保護審議会委員

同 同 安田 初雄
 同 同 梅宮 茂
 同 同 小林 清治
 同 県文化センター歴史資料課長 誉田 宏

地区調査員 16名

「歴史の道」調査候補一覧表

調査年度			番号	街道名	概算距離 km	区間	参考
57	58	59					
○			1	奥州道中	120	白坂—白河—郡山—福島—貝田(仙台方面へ)	奥州諸大名参勤交代の道
		○	2	浜街道	120	酒井—窪田—平—小高—相馬—新地(仙台方面へ)	浜通りの主要街道
○			3	米沢街道	30	八丁目(松川)—平田—大森—庭坂(米沢へ)	羽州街道の脇街道
○			4	羽州街道	10	桑折—小坂—小坂峠(山形・秋田方面へ)	出羽国の大道
		○	5	水戸街道	61	矢吹—棚倉—東館(矢祭)(水戸・常陸太田方面へ)	古代文化伝播の道
			6	中村街道	60	福島—掛田—東玉野—中村(相馬)	相馬藩と中通りを結ぶ道
○			7	相馬街道	66	本宮—針道—比曾—飯樋—草野—中村	中通りへの塩の道
		○	8	岩城街道	70	本宮山>三春—船引—小野—平	いわき地方と中通り物資交流の道
		○	9	御斎所街道	(67) 37	(須賀川)竹貫(古殿)—皿貝—常磐湯本	石川・いわき地方を結ぶ主要道
	○		10	白河街道	80	若松<背炙峠>滝沢峠>福良—勢至堂峠—白河	会津藩主参勤交代路
	○		11	南山通り	64	若松—福永(本郷)—大内—田島—糸沢(今市方面)	参勤交代と仲付駕者の道
○			12	二本松街道	53	若松<大寺>滝沢峠>猪苗代—揚枝峠—本宮—二本松	会津への物資流入路
			13	福島街道	77	若松—猪苗代—酸川野—土湯峠—福島	近世に開発された道
	○		14	米沢街道	47	若松—塩川—熊倉—大塩—桧原—桧原峠(米沢へ)	伊達政宗会津侵入の道
	○		15	越後街道	33	若松—坂下—塔寺—鐘撞堂峠—野沢(津川・新潟方面へ)	越後からの塩の道
			16	沼田街道	184	若松—坂下—柳津—只見—古町—桧枝岐—尾瀬(沼田へ)	会津半周の主要街道
			17	八十里越	20	叶津(只見)—八十里峠—鞍掛峠(新潟県下田村方面へ)	奥会津への文化流入路
			18	六十里越	25	只見—田子倉(大白川・小出方面へ)	越後へ青芋輸出の道
			19	梁川丸森道	(30) 15	(福島)—梁川—山舟生—県境	仙台領と結ぶ紙漉きの道
			20	中村丸森道	10	中村—旗巻峠(丸森方面へ)	伊達氏、相馬氏合戦の道

④ 民俗文化財調査

東北横断道の整備が促進されることに伴い、猪苗代湖

を中心とした大規模な観光開発が計画されているので、この周辺の民俗文化財を緊急に調査し、記録、保存を図